（別紙様式４－１）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和　元年　　7月　　1日※1
（前回公表年月日：平成　30年　7月　10日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
京都動物専門学校	平成8年11月15日	木原　茂弘	〒612-0068 京都府京都市伏見区桃山福島太夫西町6 （電話）075-603-0518
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人南京都学園	昭和50年3月31日	本部　広樹	〒619-0245 京都府相楽郡精華町下狛中垣内48 （電話）0774-93-0518

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	ペットビジネス学科（トリマーコース）	平成六年文部科学省 告示第八十四号	―

学科の目的	本校は教育基本法及び学校教育法に基づき商業の実務に関する専門知識及び技能を習得させ、創造性豊かな人材を育成することを目的とする。SKILL・LOVE・BUSINESS『確かな技術と人や動物に対する愛情』また『「好き」だけじゃない・・・だから、京都動物へ』をキャッチコピーに動物系とビジネス系の二本柱を教育の中心に置き、これからの動物業界の未来を担う人材の育成を目指している。今までにない新しい動物系の学校としてのあり方を常に創造し挑戦していく。
認定年月日	平成　26年3月31日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	1,800時間	1,035時間	30時間	1,320時間		
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人	60人（97人の内数）	0人	7人	17人	24人

学期制度	■前期：　4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 定期試験の成績、出欠等により総合的に評価する。
長期休み	■学年始：4月8日 ■夏　季：8月30日～9月23日 ■冬　季：12月16日～1月8日 ■学年末：3月31日	卒業・進級条件	1年次は900時間以上を履修することを進級要件とし、2年間で1,800時間　以上を履修及び学費の完納を卒業要件とする。
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 面談、電話連絡、欠席状況郵送、家庭訪問　等	課外活動	■課外活動の種類 京都府獣医師会「動物感謝デーin KYOTO」、京都市獣医師会「京都動物フォーラム2019」、滋賀県獣医師会「しが動物フェスティバル」、京都府専修学校各種学校体育大会、動物病院パピー教室、動物関係イベントボランティアスタッフ　等 ■サークル活動：　無
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（平成30年度卒業生） ペットショップ・動物病院　等 ■就職指導内容 ペット業界就職説明会への参加、合同企業説明会の開催・実施、　個別指導・相談、面接指導　等 ■卒業者数　：　31　人 ■就職希望者数　：　31　人 ■就職者数　：　31　人 ■就職率　：　100　% ■卒業者に占める就職者の割合　：　100　% ■その他 ・進学者数：　0人 （平成　30 年度卒業者に関する令和元年5月1日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （平成30年度卒業者に関する令和元年5月1日時点の情報）

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
自校トリマーライセンス	③	30人	30人
NAVAトリマーライセンス1級	③	28人	28人
NAVAトリマーライセンス2級	③	30人	28人
NAVAトリマーライセンス3級	③	31人	31人
PSIA国際トリマーライセンス（ブロンズ）	③	8人	8人
家庭動物管理士3級	③	31人	23人
愛玩動物飼養管理士2級	③	31人	26人
愛玩動物飼養管理士1級	③	3人	2人
Microsoft Office Specialist Excel 2013	③	30人	30人
Microsoft Office Specialist Word 2013	③	30人	30人
損害保険募集人一般資格	③	31人	26人

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他（民間検定等）

■自由記述欄
（例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

中途退学の現状	■中途退学者　6　名　■中退率　8.9 % 平成30年4月1日時点において、在学者67名（平成30年4月1日入学者を含む） 平成31年3月31日時点において、在学者61名（平成31年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 経済的理由・病気療養・進路変更　等 ■中退防止・中退者支援のための取組 生徒とのコミュニケーション・面談・個別相談・クラス担任制の導入・復学　等
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　(有)　無 ・学園ファミリー奨学金制度 ・特待生制度（新入生対象特待生制度、在校生対象特待生制度） ■専門実践教育訓練給付：　(給付対象)・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 2人
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　有　(無) ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）
当該学科のホームページURL	URL：http://kyoto-dobutsu.mkg.ac.jp

（留意事項）

1．公表年月日（※1）
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2．就職等の状況（※2）
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。
※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。
（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3．主な学修成果（※3）
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

本学園の教育理念及び本校商業実務専門課程ペットビジネス学科の教育目的を実現するため、ペットショップや動物病院等の動物関連企業の要望や社会的ニーズを十分に考慮し、必要となる実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成においては、組織的に企業等と連携し職業教育の改善を図る。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

上記（1）の実現のため、企業等が委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置する。この教育課程編成委員会においての意見や要望を十分に考慮し、本校商業実務専門課程ペットビジネス学科の教育を施す。教育課程の編成は、本校教務部を中心に議論し、最終的には校長が決定する。京都動物専門学校では、教育課程編成委員会の意見を踏まえ、教育課程の改善及び授業方法の工夫等を検討する。検討においては、教務部が中心となり教務部長・副校長・事務長などの本校教職員によって話し合い、校長が決定し採用となる。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
木原　茂弘	京都動物専門学校　校長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	
若松　久雄	京都府獣医師会　副会長・事務局長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	①
吉田　龍一郎	吉田家畜病院　院長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	③
高橋　佳代子	関西動物看護教育研究会　理事	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	②
大山　守	（一社）全国ペット協会　専務理事	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	①
吉田　浩和	アンアミ　代表	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	③
中嶋　慶喜	ドッグサロンREVE（レーヴ）　オーナー	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	③
中本　敦史	学校法人南京都学園　法人本部企画室次長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	
大塚　浩也	京都動物専門学校　副校長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	
木下　博美	京都動物専門学校　事務長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	
寺岡　朋美	京都動物専門学校　教務部長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	
稲原　美穂子	京都動物専門学校　教務主任	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	
中井　澄子	京都動物専門学校　進路主任	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	
小西　美恵	京都動物専門学校　入試・広報主任	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回開催　（9月、3月）

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

動物業界の動向・変化を把握し、企業の求める人材（技術・能力）養成が必要との意見に対し、（一社）日本動物専門学校協会NAVA、（一社）ペットスタイリスト国際協会PSIAのトリマーライセンス取得カリキュラムを実施。（一社）全国ペット協会ZPK認定の家庭動物管理士取得を実施。
また、接客・コミュニケーション能力養成のため、モデル犬会員との接客対応を生徒自身が行うシステム（SR）を導入し実施。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

動物業界全体の発展を目指すため、動物関連企業と互いに協力し次世代の動物業界を担う人材を育成する。「命の大切さ」を常に念頭に置き、動物単科の専門学校として動物分野に特化した教育に全力で取り組んでいる。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

企業と協定書を締結し、インターンシップ等を実施し、その際の評価表を学修成果の評価に反映させている。企業等の役職員と講師契約書に基づいて実習・演習を実施し、学修成果の評価を実施。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
ドッグトレーニング演習	犬のボディーランゲージと犬の理解	アンアミ
グルーミング実習Ⅰ	基本的なグルーミングの基礎知識	ドッグサロンREVE（他57企業）
グルーミング実習Ⅱ	高度なトリミング技術と応用力	ドッグサロンREVE（他57企業）
インターンシップⅠ	職業観を確立し、自主性（自己啓発・自己責任・自立）を身につけ、必要なマインドを醸成する	ドッグサロンREVE（他57企業）
インターンシップⅡ	就職に向けて自分自身の強みを把握し、職業観を確立するとともに接遇やコミュニケーション能力を身につける。	ドッグサロンREVE（他57企業）

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
最新の実務を本校の教育に反映させるため、京都動物専門学校、教育研修規程に基づき、組織的に研修機会を確保する。集団個人を問わず、職業能力の開発、向上を図るため、あらゆる機会と方法を利用して実施する。特に学校外研修では、外部と交流しながら研修することとなるため、教員にとって大きな刺激となる。必要な専門知識を習得するための研修を計画的に受講できるようにするとともに、プロフェッショナルとして必要な能力を養成するための研修には、積極的に参加する。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等
・学校外研修　施設研修【（財）関西盲導犬協会、滋賀県動物保護管理センター、NPO法人日本レスキュー協会、NPO法人アニマルレフュージ関西】
＜対象＞教職員　＜内容＞ペットの社会問題を考える　＜期間＞2018年 5/24、2018年 11/22・29　＜連携内容＞授業で各施設の活動について講義を行う。
・自己啓発研修　（一社）日本動物専門学校協会　「トリマー教員対象勉強会」参加
＜対象＞教員　＜内容＞ドッグエステについて　＜期間＞2018年9月1日　＜連携内容＞動物業界でのドッグエステの動向及び内容・効果・方法などを授業に還元。
②指導力の修得・向上のための研修等
・学校外研修　京都府専修学校各種学校新任教員研修
＜対象＞教職員　＜内容＞専修学校教員の必要な基礎知識を身につける　＜期間＞2018年10/13、11/10・17＜連携内容＞授業にグループ討論・発表導入。

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等
・学校外研修　施設研修【（財）関西盲導犬協会、滋賀県動物保護管理センター、NPO法人日本レスキュー協会、NPO法人アニマルレフュージ関西】
＜対象＞教職員　＜内容＞ペットの社会問題を考える　＜期間＞2019年5/23、11/21（予定）　＜連携内容＞授業で各施設の活動について講義を行う。
・自己啓発研修　FCIインターナショナルドッグショー見学
＜対象＞教員　＜内容＞犬種標準の知識を深める　＜期間＞2019年12/1（予定）　＜連携内容＞犬種学等の授業において犬種標準についての講義を行う。
②指導力の修得・向上のための研修等
・学校外研修　（一社）日本動物専門学校協会　「トリマー教員対象勉強会」参加
＜対象＞教員　＜内容＞トリミング講習会及びコンテスト参加　＜期間＞2019年8月（予定）　連携内容：教員の知識及び技術・指導力の向上。
・学校外研修　京都府専修学校各種学校新任教員研修
＜対象＞教職員　＜内容＞専修学校教員の必要な基礎知識を身につける　＜期間＞2019年10・11月（予定）　＜連携内容＞授業にグループ討論・発表導入

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針
自己点検評価を基に第三者の目から見た貴重な意見を可能な限り取り入れ、社会に貢献できる人材を育成することを基本方針とする。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	教育理念・教育目標
（2）学校運営	学校運営
（3）教育活動	教育活動
（4）学修成果	学修成果
（5）学生支援	学生支援
（6）教育環境	教育環境
（7）学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
（8）財務	財務
（9）法令等の遵守	法律等の遵守
（10）社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
（11）国際交流	国際交流

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況
施設・設備及び教育環境の改善との意見に対し、ブロック塀補強と主要施設の照明をLEDに変更。また、生徒からの要望を鑑み、自動販売機の増設。危機管理に対しては、防犯（カメラ）対策及び非常食の備蓄の充実を継続して実施。
社会貢献・地域貢献の意見に対し、連携企業・協会等の一般者対象のイベント・フォーラムに参加。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
吉田　龍一郎	吉田家畜病院　院長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	企業等委員
中嶋　慶喜	ドッグサロンREVE（レーヴ）　オーナー	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	企業等委員
中本　敦史	学校法人南京都学園　法人本部企画室次長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	学園関係者
平尾　克英	京都福祉専門学校　副校長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	学園関係者
塩見　浩二	京都廣学館高等学校　教頭	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	学園関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ　・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　）、　公表時期：10月1日　）
URL:http://kyoto-dobutsu.mkg.ac.jp

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業との密接な情報共有により、学校と企業がお互い良好な関係が築けるよう、常に動物関係の情報を収集し、質の保証・向上を図り、学生に対して最新の授業を行うことを基本方針とする。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	教育理念・目標（自）、法人の概要、事業の概要（事）
（2）各学科等の教育	教育活動（自）、事業の概要（事）
（3）教職員	教育活動（自）、法人の概要（事）
（4）キャリア教育・実践的職業教育	教育活動、社会貢献・地域貢献（自）、事業の概要（事）
（5）様々な教育活動・教育環境	教育活動、社会貢献・地域貢献（自）、事業の概要（事）
（6）学生の生活支援	学生支援、教育環境、法令等の遵守（自）
（7）学生納付金・修学支援	学生支援、学生の受入募集（自）
（8）学校の財務	財務（自）、財務の状況（事）
（9）学校評価	学校運営、教育活動、学習成果、法令等の遵守（自）
（10）国際連携の状況	―
（11）その他	―

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

（ホームページ（自＝自己点検・評価報告書）・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（事＝事業報告書） ）

URL:http://kyoto-dobutsu.mkg.ac.jp

（別紙様式４－２）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和　元年　7月　1日※1
（前回公表年月日：平成　30年　7月　10日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
京都動物専門学校	平成8年11月15日	木原　茂弘	〒612-0068 京都府京都市伏見区桃山福島太夫西町6 （電話）075-603-0518
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人南京都学園	昭和50年3月31日	本部　広樹	〒619-0245 京都府相楽郡精華町下狛中垣内48 （電話）0774-93-0518

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	ペットビジネス学科（動物看護師コース）	平成六年文部科学省 告示第八十四号	―

学科の目的	本校は教育基本法及び学校教育法に基づき商業の実務に関する専門知識及び技能を習得させ、創造性豊かな人材を育成することを目的とする。SKILL・LOVE・BUSINESS『確かな技術と人や動物に対する愛情』また『「好き」だけじゃない・・・だから、京都動物へ』をキャッチコピーに動物系とビジネス系の二本柱を教育の中心に置き、これからの動物業界の未来を担う人材の育成を目指している。今までにない新しい動物系の学校としてのあり方を常に創造し挑戦していく。
認定年月日	平成　26年3月31日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	1,800時間	1,380時間	30時間	885時間		

単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人	37人（97人の内数）	0人	7人	17人	24人

学期制度	■前期：　4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 定期試験の成績、出欠等により総合的に評価する。
長期休み	■学年始：4月8日 ■夏　季：8月30日～9月29日 ■冬　季：12月25日～1月8日 ■学年末：3月31日	卒業・進級条件	1年次は900時間以上を履修することを進級要件とし、2年間で1,800時間以上を履修及び学費の完納を卒業要件とする。
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 面談、電話連絡、欠席状況郵送、家庭訪問　等	課外活動	■課外活動の種類 京都府獣医師会「動物感謝デーin KYOTO」、京都市獣医師会「京都動物フォーラム2019」、滋賀県獣医師会「しが動物フェスティバル」、京都府専修学校各種学校体育大会、動物病院パピー教室、京都市動物愛護センターへ寄贈品の贈呈　等 ■サークル活動：　無
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（平成30年度卒業生） 動物病院、実験動物飼育管理会社、一般企業　等 ■就職指導内容 合同企業説明会の開催・実施、個別指導・相談、面接指導等 ■卒業者数　：　16　人 ■就職希望者数　：　15　人 ■就職者数　：　14　人 ■就職率　：　93.3　% ■卒業者に占める就職者の割合　：　87.5　% ■その他 ・進学者数：　0人 （平成　30　年度卒業者に関する令和元年5月1日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （平成30年度卒業者に関する令和元年5月1日時点の情報） ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 （例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
認定動物看護師	③	14人	14人
愛玩動物飼養管理士2級	③	15人	14人
愛玩動物飼養管理士1級	③	1人	1人
Microsoft Office Specialist Excel 2013	③	16人	16人
損害保険募集人一般資格	③	16人	16人

中途退学の現状	■中途退学者　4　名　■中退率　10　% 平成30年4月1日時点において、在学者40名（平成30年4月1日入学者を含む） 平成31年3月31日時点において、在学者36名（平成31年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 経済的理由・病気療養・進路変更　等 ■中退防止・中退者支援のための取組 生徒とのコミュニケーション・面談・個別相談・クラス担任制の導入・復学　等
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有・無 ・学園ファミリー奨学金制度 ・特待生制度（新入生対象特待生制度、在校生対象特待生制度） ■専門実践教育訓練給付：　給付対象・非給付対象 1人
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）
当該学科のホームページURL	URL：http://kyoto-dobutsu.mkg.ac.jp

（留意事項）

1．公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2．就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3．主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

本学園の教育理念及び本校商業実務専門課程ペットビジネス学科の教育目的を実現するため、ペットショップや動物病院等の動物関連企業の要望や社会的ニーズを十分に考慮し、必要となる実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成においては、組織的に企業等と連携し職業教育の改善を図る。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

上記（1）の実現のため、企業等が委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置する。この教育課程編成委員会においての意見や要望を十分に考慮し、本校商業実務専門課程ペットビジネス学科の教育を施す。教育課程の編成は、本校教務部を中心に議論し、最終的には校長が決定する。京都動物専門学校では、教育課程編成委員会の意見を踏まえ、教育課程の改善及び授業方法の工夫等を検討する。検討においては、教務部が中心となり教務部長・副校長・事務長などの本校教職員によって話し合い、校長が決定し採用となる。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
木原　茂弘	京都動物専門学校　校長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	
若松　久雄	京都府獣医師会　副会長・事務局長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	①
吉田　龍一郎	吉田家畜病院　院長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	③
高橋　佳代子	関西動物看護教育研究会　理事	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	②
大山　守	（一社）全国ペット協会　専務理事	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	①
吉田　浩和	アンアミ	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	③
中嶋　慶喜	ドッグサロンREVE（レーヴ）　オーナー	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	③
中本　敦史	学校法人南京都学園　法人本部企画室次長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	
大塚　浩也	京都動物専門学校　副校長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	
木下　博美	京都動物専門学校　事務長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	
寺岡　朋美	京都動物専門学校　教務部長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	
稲原　美穂子	京都動物専門学校　教務主任	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	
中井　澄子	京都動物専門学校　進路主任	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	
小西　美恵	京都動物専門学校　入試・広報主任	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回開催　（3月、9月）

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

本校独自のカリキュラムにおいて、動物看護師コースにグルーミング実習を実施。ビジネス能力・コミュニケーション能力の向上を目的にビジネス系の授業を実施。
授業の一環として、学会発表や動物看護関連セミナーへの参加。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

動物業界全体の発展を目指すため、動物関連企業と互いに協力し次世代の動物業界を担う人材を育成する。「命の大切さ」を常に念頭に置き、動物単科の専門学校として動物分野に特化した教育に全力で取り組んでいる。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

企業と協定書を締結し、インターンシップ等を実施。又、評価表を提出いただき学修成果の評価に反映させている。企業等の役職員と講師契約書に基づいて実習・演習を実施し、学修成果の評価を実施。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
動物臨床検査学実習Ⅰ	臨床検査の理解	関西動物看護研究会
動物臨床検査学実習Ⅱ	検体検査及び生体検査	関西動物看護研究会
外科動物看護実習	外科看護技術の習得及び麻酔管理を学ぶ	林屋動物診療室　総合医療センター
動物看護実習Ⅰ	基本的な看護法に関する観察力と手段	林屋動物診療室　総合医療センター
動物看護実習Ⅱ	犬・猫の行動及び特長を理解し、動物の身体的健康保持・心理的健康維持の知識を深める。	関西動物看護研究会 林屋動物診療室　総合医療センター

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

最新の実務を本校の教育に反映させるため、京都動物専門学校、教育研修規程に基づき、組織的に研修機会を確保する。集団個人を問わず、職業能力の開発、向上を図るため、あらゆる機会と方法を利用して実施する。特に学校外研修では、外部と交流しながら研修することとなるため、教員にとって大きな刺激となる。必要な専門知識を習得するための研修を計画的に受講できるようにするとともに、プロフェッショナルとして必要な能力を養成するための研修には、積極的に参加する。

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

・学校外研修　施設研修【（財）関西盲導犬協会、滋賀県動物保護管理センター、NPO法人日本レスキュー協会、NPO法人アニマルレフュージ関西】
＜対象＞教職員　＜内容＞ペットの社会問題を考える　＜期間＞2018年5/24、2018年11/22・29　＜連携内容＞授業で各施設の活動について講義を行う。

・学校外研修　動物病院（林屋動物医療センター）での臨床研修
＜対象＞教員　＜内容＞教員（獣医師）が病院で職場研修　＜期間＞毎月2回　＜連携内容＞最新及び現状の技術・知識を看護系授業で教える。

②指導力の修得・向上のための研修等

・学校外研修　（公社）日本動物病院福祉協会、（一社）日本臨床獣医学フォーラム主催のWJVF大会参加
＜対象＞教員　＜内容＞獣医師・動物看護職・一般市民の為の学術・文化集会　＜期間＞2018年7/14・15　連携内容：生理学・治療法等を看護系授業で講義を行う。

・学校外研修　京都府専修学校各種学校新任教員研修
＜対象＞教職員　＜内容＞専修学校教員の必要な基礎知識を身につける　＜期間＞2018年10/13、11/10・17　＜連携内容＞授業にグループ討論・発表導入。

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

・学校外研修　施設研修【（財）関西盲導犬協会、滋賀県動物保護管理センター、NPO法人日本レスキュー協会、NPO法人アニマルレフュージ関西】
＜対象＞教職員　＜内容＞ペットの社会問題を考える　＜期間＞2019年5/23、11/21（予定）　＜連携内容＞授業で各施設の活動について講義を行う。

・学校外研修　動物病院（林屋動物医療センター）での臨床研修
＜対象＞教員　＜内容＞教員（獣医師）が病院で職場研修　＜期間＞毎月2回　＜連携内容＞最新及び現状の技術・知識を看護系授業で教える。

②指導力の修得・向上のための研修等

・学校外研修　（公社）日本動物病院福祉協会、（一社）日本臨床獣医学フォーラム主催のWJVF大会参加
＜対象＞教員　＜内容＞獣医師・動物看護職・一般市民の為の学術・文化集会　＜期間＞2019年7/13・14　連携内容：生理学・治療法等を看護系授業で講義を行う。

・学校外研修　京都府専修学校各種学校新任教員研修
＜対象＞教職員　＜内容＞専修学校教員の必要な基礎知識を身につける　＜期間＞2019年10・11月予定　＜連携内容＞授業にグループ討論・発表導入。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

自己点検評価を基に第三者の目から見た貴重な意見を可能な限り取り入れ、社会に貢献できる人材を育成することを基本方針とする。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	教育理念・教育目標
（2）学校運営	学校運営
（3）教育活動	教育活動
（4）学修成果	学習成果
（5）学生支援	学生支援
（6）教育環境	教育環境
（7）学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
（8）財務	財務
（9）法令等の遵守	法律等の遵守
（10）社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
（11）国際交流	国際交流

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

施設・設備及び教育環境の改善との意見に対し、外壁の修繕を実施し空調設備の全入れ替えを決定。また、生徒からの要望を鑑ドッグランの改装を行う。危機管理に対しては、防犯（カメラ）対策及び非常食の備蓄の充実を行う。

社会貢献・地域貢献の意見に対し、連携企業・協会等の一般者対象のイベント・フォーラムに参加。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
吉田　龍一郎	吉田家畜病院　院長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	企業等委員
中嶋　慶喜	ドッグサロンREVE（レーヴ）　オーナー	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	企業等委員
中本　敦史	学校法人南京都学園　法人本部企画室次長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	学園関係者
平尾　克英	京都福祉専門学校　副校長	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	学園関係者
塩見　浩二	京都廣学館高等学校　教頭	平成29年10月1日～令和元年9月30日（2年）	学園関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　）、公表時期：10月1日）

URL:http://kyoto-dobutsu.mkg.ac.jp

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
企業との密接な情報共有により、学校と企業がお互い良好な関係が築けるよう、常に動物関係の情報を収集し、質の保証・向上を図り、学生に対して最新の授業を行うことを基本方針とする。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	教育理念・目標（自）、法人の概要、事業の概要（事）
（2）各学科等の教育	教育活動（自）、事業の概要（事）
（3）教職員	教育活動（自）、法人の概要（事）
（4）キャリア教育・実践的職業教育	教育活動、社会貢献・地域貢献（自）、事業の概要（事）
（5）様々な教育活動・教育環境	教育活動、社会貢献・地域貢献（自）、事業の概要（事）
（6）学生の生活支援	学生支援、教育環境、法令等の遵守（自）
（7）学生納付金・修学支援	学生支援、学生の受入募集（自）
（8）学校の財務	財務（自）、財務の状況（事）
（9）学校評価	学校運営、教育活動、学習成果、法令等の遵守（自）
（10）国際連携の状況	―
（11）その他	―

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法
（ホームページ（自＝自己点検・評価報告書） ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（事＝事業報告書）　　）

URL:http://kyoto-dobutsu.mkg.ac.jp

授業科目等の概要

（商業実務専門課程ペットビジネス学科　トリマーコース）平成31年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	犬学	犬の進化や本能・学習理論を学び、愛情をベースに科学的に考える	1前	30		○			○			○	○
		○	犬種学	犬の体に関する知識とスタンダード（犬種標準）及びグルーミング・トリミングとは何かを理解する	1前	30		○			○		○		
		○	動物医療学	犬についての基本的な知識と、犬の体の構造や機能について学び理解する	1前	30		○			○			○	
		○	動物公衆衛生学Ⅰ	感染症についての基本的知識を身につけ、その原因となる病原微生物について学習する	1後	30		○			○			○	
		○	動物公衆衛生学Ⅱ	感染症の予防並びに人獣共通感染症について学習する	2	30		○			○			○	
		○	ドッグトレーニング演習	犬のボディランゲージと学習方法を学び、実際に犬と接することでより犬への理解を深める	1後	30			○		○			○	○
		○	動物飼養管理学	愛玩動物の基本的な生態及び飼育を学び、愛玩動物飼養管理士２級の受験に向けて試験対策をおこなう	1通	60		○			○			○	
		○	グルーミング概論	トリミングの知識・向上意欲を高める	1通	60		○			○		○		
		○	動物介在・共生論	犬や猫の社会背景を知り動物が人間社会で共生していくための方法を学ぶ	1通	60		○			○			○	
		○	動物愛護・福祉論	動物福祉の現状や問題点、解決策について考え、動物愛護及び法律の改正点や今後の課題について学ぶ	2	30		○			○			○	
		○	動物栄養学	犬・猫が必要とする栄養素を理解し、ライフステージ別の栄養管理、ペットフード市場などについて学ぶ	2	30		○			○		○		
		○	動物生理学	犬の些細な変化に気づき病気の早期発見、早期治療に繋げることができる知識を身につける	2	30		○			○			○	
		○	動物学	ペットに関わる仕事に携わるのに必要な動物の基礎的知識を修得する	2	30		○			○	○		○	
		○	動物臨床栄養学	犬猫の基礎栄養学を学び、ライフステージ・疾患を理解。フード選び・給餌方法・飼い主指導に必要な栄養学的知識の修得する	2	60		○			○			○	
		○	動物医療コミュニケーション	健康管理に関わる飼い主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内でのスタッフとのコミュニケーションの基礎を学ぶ。	2	30		○			○			○	
		○	猫学	猫の歴史、体の構造、飼育管理、猫種ごとの性格など、猫に関する知識を深める	2通	60		○			○			○	
		○	動物福祉・倫理	人と動物の調和に関わることを学び、自分に出来る事を実践する。	2	30		○			○			○	
		○	ペットファーストエイド	動物のパーソナルセーフティー、ノーマルバイタルサイン、ペットエマージェンシーを理解し対応を修得する。	2	15		△		○	○			○	
		○	エキゾチックアニマル	エキゾチックアニマルについて分類、生態、飼育等に関する広範な知識の修得する。	2通	60		○			○	○		○	
		○	動物保護論	飼養動物や野生動物、自然の保護についての現状に触れ、ｴｷｿﾞﾁｯｸｱﾆﾏﾙの講義と連動した自然観察を行う	2通	60		○			○	○		○	
		○	動物健康管理学	ペットとして扱われる動物の飼育や健康管理についての知識を修得する。	2通	60		○			○	○		○	
		○	グルーミング実習Ⅰ	犬の扱いやトリマーとしての心構えといった基礎力を中心に、ｽﾀｯﾌﾙｰﾑでのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝや接客の重要性を学ぶ	1通	480				○	○	○	○		○
		○	グルーミング実習Ⅱ	犬種ごとのｶｯﾄの特徴を理解し、正確な技術・応用力を身につけ即戦力につなげる	2通	480				○	○	○	○		○
		○	グルーミング実習Ⅲ	学生の意識からﾌﾟﾛの意識へと変化させ、プロのトリミング技術を身につける	2通	240				○	○	○	○		○
		○	ペットビジネス学	動物に関わるビジネスの特徴、あり方の基本を学ぶ	1通	60		○			○			○	
		○	インターンシップⅠ	職業観を確立し、自主性（自己啓発・自己責任・自立）を身につけ、必要なマインドを醸成する	1後	30		○			○			○	○
		○	インターンシップⅡ	就職活動に向けて自分自身の強みを把握し、職業観を確立するとともに接遇やｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力を身につける	2前	30		○			○			○	○
		○	コンピュータ実習Ⅰ	文書作成ソフト（Word)を利用して、文書作成に関する技法を習得（Microsoft Office Specialist)	1通	60				○	○		○		
		○	コンピュータ実習Ⅱ	表計算ソフト（Excel)を使いデータの活用方法を学ぶ（Microsoft Office Specialist)	2通	60				○	○		○		
		○	ビジネスマナー一般常識	ビジネス実務遂行のために必要なスキルを身につけ、社会人としての資質を磨き、就職活動に望む	2	30		○			○			○	
		○	ショップ会計	ﾍﾟｯﾄｼｮｯﾌﾟ等の商品販売業経営に不可欠とされる簿記について学ぶ（日商簿記検定3級合格を目指す）	2通	60		○			○		○		
合計				31科目		2,385時間（　　単位）									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
1年次は900時間以上を履修することを進級要件とし、2年間で1800時間以上を履修することを卒業要件とする。※2年次に〔メディカルトリマー専攻〕・ショップスタッフ専攻〕・〔トリマー専攻〕のいずれかを履修すること。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（商業実務専門課程ペットビジネス学科　動物看護師コース）平成29年度　　※平成26年度の1年生からの適用

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			動物機能形態学Ⅰ	動物の生命維持の仕組みと解剖学および生理学の基礎を理解する	1通	120		○			○		○		
○			動物疾病看護学Ⅰ	チーム獣医療の場で必要な病名や診断名を学習。 また、治療方針の理解度を高め疾病について学ぶ	1通	60		○			○			○	
○			動物感染症学	感染症の原因・経路・予防を理解する	1通	60		○			○			○	
○			動物公衆衛生学	公衆衛生のために必要な知識を理解し活用する	1通	60		○			○			○	
○			動物健康管理学Ⅰ	健常なイヌ・ネコに必要な日常ケアと適正飼育を理解する	1通	60		○			○			○	
○			動物福祉論	動物看護師としての考え方、動物と関わる人間としての心構えを学ぶ	1通	60		○			○			○	
○			飼養管理学	自分たちに関わる動物の特徴を知り、適正な管理ができるようになる	1通	60		○			○			○	
○			臨床動物看護学Ⅰ	動物看護師の視点で疾病動物看護学で学んだ概要を復習し、動物看護師の役割、目的などを振り返る	1通	60		○			○			○	
○			幼齢動物・老齢動物管理	イヌ・ネコの新生仔期～幼年期の管理と看護を学ぶ。また、老齢期の機能形態の変化、疾病について学ぶ	1前	30		○			○			○	
○			クライアントエデュケーション	健康維持、適正飼育の啓発と飼主への指導を学ぶ	1後	30		○			○			○	
○			動物病理学	発病のメカニズムとその病理学的特長を理解し、解剖学、生理学や薬理学の知識を深め看護に役立てる	2通	60		○			○			○	
○			動物薬理学	薬が作用する過程を理解し、動物の病態、治療薬の薬理作用、機序、臨床応用及び副作用を学ぶ	2通	60		○			○		○		
○			動物栄養学	犬猫の栄養代謝とペットフードについて	2通	60		○			○			○	
○			動物医療関連法規	動物に関する条例及び法律を学ぶことにより、社会における人と動物の関係性や保護制度などを理解する	2通	60		○			○			○	
○			院内コミュニケーション	動物病院内での接遇マナーやホスピタリティを考え演習する	2通	60		○			○	○		○	
	○		動物機能形態学Ⅱ	動物の体の仕組みを理解することにより、動物の疾病、検査、治療についての基礎知識を修得する	2通	60			○		○		○		
	○		動物疾病看護学Ⅱ	チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学び、主な疾患の機序及び症状、検査法、治療法を理解する	2通	120		○			○			○	
	○		動物健康管理学Ⅱ	適切なウェルネスプログラムに必要な知識を学ぶ	2通	60		○			○			○	
	○		臨床動物看護学Ⅱ	多様な症状別及び臓器別の看護のポイントを学ぶ	2通	60		○			○			○	
	○		救急救命対応	応急処置と院内での急患の対応	2前	15		○			○			○	
○			動物臨床検査学実習Ⅰ	臨床現場において日常的に行う臨床検査を理解し、効率よく行えるようにする	1通	120			○		○			○	○
○			連携施設内研修Ⅰ	インターンシップ	2	90				○		○		○	○
○			動物看護実習Ⅰ	院内の看護師業務	1通	120				○	○		○		○
○			グルーミング実習	基本的なグルーミング知識・技術の習得と飼い主とのコミュニケーションや接客技法を学ぶ	1通	240				○	○		○		○
	○		動物臨床検査学実習Ⅱ	臨床現場において日常的に行う臨床検査を理解し、効率よく行えるようにする	2通	120				○	○			○	○
	○		連携施設内研修Ⅱ	インターンシップ	2	140				○	○	○		○	○
	○		動物看護実習Ⅱ	院内の看護師業務（入院、管理、処置など）	2通	120				○	○			○	○
	○		外科動物看護実習	周術期の看護、外科看護技術を学ぶ	2通	120				○	○	○		○	○
○			ビジネススキルⅠ	経営環境、業界の現状を調べ、物事の考え方や判断について学ぶ	1前	30		○			○			○	
○			コミュニケーション技法基礎	社会人として、また、ｺﾝﾊﾟﾆｵﾝｱﾆﾏﾙにかかわるﾌﾟﾛとしてのﾏﾅｰやｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの基本を身につける	1後	30		○			○			○	
○			コンピュータ実習	マイクロソフトオフィススペシャリスト検定	2前	60				○	○		○		
○			ビジネススキルⅡ	就職に向けて、社会の仕組みや企業経営の仕組みを知る。専門職に求められるビジネススキルを磨く	2前	30		○			○			○	
○			コミュニケーション技法応用	社会人として、また、ｺﾝﾊﾟﾆｵﾝｱﾆﾏﾙにかかわるﾌﾟﾛとしてのﾏﾅｰやｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの応用を身につける	2後	30		○			○			○	
	○		認定動物看護師の理解	全ての授業をトータルに学び、認定試験に向けて学習する	2後	60		○			○			○	
合計				34科目		2,525単位時間（　　単位）									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
2年次には必修・選択を合わせて800時間以上を履修し、2年間では2,030時間以上を履修することを卒業要件とする。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（商業実務専門課程ペットビジネス学科　動物看護師コース）平成31年度　　※平成31年度の1年生からの適用

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	動物形態機能学	動物の生命維持の仕組みと解剖学および生理学の基礎を理解する	1通	120		○			○		○		
		○	動物繁殖学	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝子の基礎知識を修得する	2	30		○			○			○	
		○	動物病理学	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する	2	30		○			○			○	
		○	動物薬理学	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する	2	60		○			○		○		
		○	動物感染症学Ⅰ	感染症の原因・経路・予防を理解する	1通	60		○			○			○	
		○	動物感染症学Ⅱ	微生物・寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。	2	30		○			○			○	
		○	動物看護学概論	獣医学の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する	1通	60		○			○			○	
		○	動物医療関連法規	動物や獣医療に関連する様々な法規について学び、社会における動物看護師の役割を理解する	2	30		○			○			○	
		○	公衆衛生学	環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する	2	60		○			○			○	
		○	人間動物関係学	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会学的側面から理解する	2	30		○			○			○	
		○	動物福祉・倫理	動物愛護や動物福祉（アニマルウェルフェア）、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。	1前	30		○			○			○	
		○	動物行動学	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。	2	30		○			○			○	
		○	伴侶動物学Ⅰ	伴侶動物の歴史や品種、管理方法を学ぶ。	1前	30		○			○			○	
		○	伴侶動物学Ⅱ	伴侶動物の歴史や品種、管理方法、およびエキゾチック動物の生態について学ぶ。	2	30		○			○			○	
		○	産業動物・実験動物学	産業動物・実験動物の歴史や品種、飼育管理法、畜産業および動物実験など社会との係わりについて学ぶ。	2通	60		○			○			○	
		○	野生動物学	日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ。	2	30		○			○	○		○	
		○	動物内科看護学	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。	1前	30		○			○			○	
		○	動物外科看護学Ⅰ	外科診療の補助に必要な基礎知識を学ぶ。	1後	30		○			○		○		
		○	動物外科看護学Ⅱ	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する	2	30		○			○		○		
		○	動物臨床看護学・総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。	1後	30		○			○			○	
		○	動物臨床看護学・各論	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。	2通	120		○			○			○	
		○	動物臨床栄養学	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を修得する。	1通	60		○			○			○	
		○	動物臨床検査学Ⅰ	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学ぶ。	1前	30		○			○			○	
		○	動物臨床検査学Ⅱ	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機能の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。	2	30		○			○			○	
		○	動物医療コミュニケーション	日常健康管理に関わる飼い主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ。	1後	30		○			○			○	
		○	動物形態機能学実習Ⅰ	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。	1前	30				○	○		○		
		○	動物形態機能学実習Ⅱ	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。	2	15				○	○		○		
		○	動物内科看護学実習	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	1通	90				○	○			○	○
		○	動物臨床検査学実習	臨床検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。	1通	90			○		○			○	○
		○	動物外科看護実習	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	2通	90				○	○		○		○
		○	動物臨床看護学実習	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	2通	60				○	○	○		○	○
		○	インターンシップⅠ	動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身につけた知識や技術を総合的に実践する。	1後	90				○		○		○	○
		○	インターンシップⅡ	職場でのインターンシップを通じて、動物関連業務における広い見識を身につける。	2前	90				○		○		○	○
		○	猫学	猫の歴史、体の構造、飼育管理、猫種ごとの性格など、猫に関する知識を深める	1通	60		○			○			○	
		○	認定動物看護師の理解	全ての授業をトータルに学び、認定試験に向けて学習する	2通	60		○			○			○	
		○	ペットファーストエイド	動物のパーソナルセーフティー、ノーマルバイタルサイン、ペットエマージェンシーを理解し対応を習得する。	2	15		△		○	○			○	○
		○	ペット保険講座	ペット保険に関する知識を学習し、資格取得を目指す。	1前	15		○			○			○	○
		○	校外総合学習Ⅰ	動物に関わる様々な施設への見学および動物関連のイベントへの参加、ボランティア活動などを行い広い見識を養う。	1前後	15				○		○		○	○
		○	校外総合学習Ⅱ	動物に関わる様々な施設への見学および動物関連のイベントへの参加、ボランティア活動などを行い広い見識を養う。	1前後	15				○		○		○	○
		○	ペットアドバイザー演習	犬と生活するにあたり、犬の習性を理解した トレーニング方法を学び、実践的なトレーニング方法を修得する。	1後	30			○		○			○	
		○	グルーミング実習	基本的なグルーミング知識・技術の習得と飼い主とのコミュニケーションや接客技法を学ぶ	1通	240				○	○		○		○
		○	ビジネススキルⅠ	経営環境、業界の現状を調べ、物事の考え方や判断について学ぶ	1前	30		○			○			○	
		○	ビジネススキルⅡ	就職に向けて、社会の仕組みや企業経営の仕組みを知る。専門職に求められるビジネススキルを磨く	2	30		○			○			○	
		○	コミュニケーション技法基礎	社会人として、また、ｺﾝﾊﾟﾆｵﾝﾌｧﾆﾏﾙにかかわるﾌﾟﾛとしてのﾏﾅｰやｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの基本を身につける	1前	30		○			○			○	
		○	コミュニケーション技法応用	社会人として、また、ｺﾝﾊﾟﾆｵﾝﾌｧﾆﾏﾙにかかわるﾌﾟﾛとしてのﾏﾅｰやｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの応用を身につける	2	30		○			○			○	
		○	コンピューター実習	マイクロソフトオフィススペシャリスト検定	2	60				○	○		○		
合計				46科目		2,295単位時間（　　単位）									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
1年次は900時間以上を履修することを進級要件とし、2年間で1,800時間以上を履修することを卒業要件とする。認定動物看護師試験は、2,295時間を履修することを	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。